

原子力規制庁の主な対応（12月4日以降）
（東京電力福島第一原子力発電所関連）

平成 26 年 1 月 8 日
柏崎刈羽原子力規制事務所

【原子力規制委員会】

（12月11日定例会）

○国際原子力機関（IAEA）専門家の来日について【別添1】

11月25日～12月5日に来日したIAEA廃炉レビューミッションは、12月4日にサマリーレポートを公表しました。この中の、海洋モニタリング関連のアドバイスについて報告がありました。

（12月25日定例会）

○「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」について

福島復興に向けた政府の政策が、12月20日の原子力災害防災対策会議で決定後、閣議決定されました。

【原子力規制委員会 検討チーム等】

○海洋モニタリングに関する検討会

12月 9日 第3回

以 上

国際原子力機関（IAEA）専門家の来日について

平成25年12月11日
原子力規制庁

1. 来日日程

○ IAEA海洋モニタリング専門家による現地視察、意見交換等の実施

廃炉レビューミッションの一員として来日したIAEA海洋モニタリング専門家等による分析機関の現地視察、関係省庁との意見交換を実施。

[日 程] 平成25年11月25日～12月4日

[訪問者] Hartmut NIES IAEAモナコ海洋環境研究所 放射分析研究所長
(廃炉レビューミッションの一員として来日)

[活動概要]

- ・ 日本分析センターを視察（11/26）
- ・ 福島県原子力センターを視察（11/28）
- ・ 関係省庁等との意見交換（11/26～12/2）

2. 廃炉レビューミッションのサマリーレポートにおけるアドバイスについて

廃炉レビューミッションは12月4日にサマリーレポートを公表した。この中で、海洋モニタリング関連のアドバイスは以下のとおり。

- ・ 日本の分析機関における技術的試験（Proficiency Test）や外国の分析機関によるクロスチェックを実施する。
- ・ 科学的に正しくデータを解釈し、かつ、分かりやすく公表していくことは重要であるが簡単なことではない。事故前の自然環境中の放射能の値や事故後の変化を継続的に示す。
- ・ 連続海水モニタリングシステムの設置を推薦。